

# 第28回かわなべ磨崖仏まつり 開催

～今年はアベック優勝！～



11月8日、清水岩屋公園で第28回かわなべ磨崖仏まつりが開催されました。メインの「玉入れ合戦」では熱戦が繰り広げられ、川辺学習館の保護者チームが一般の部とレディースの部において共に優勝し、見事なアベック優勝を飾りました。また、会場にはハイレベルな仮装をしたチームも数多く見られ、多くの人が写真に収めていました。相撲大会では園児らの取組に大きな歓声上がり、竹細工などの体験コーナーや白バイ展示、フィッシングジャンボリーなど多くの人で賑い、会場は活気にあふれていました。



▲アベック優勝を果たしたGM3チーム（前列）と川辺学習館イクメンですね！（後列）。



▲秋空の下、スタート合図と共に一斉に玉を投げ入れる参加者たち。



▲園児らの相撲に土俵の周りから熱い声援が飛び交っていました。



▲川辺仏壇青年部による釘彫金体験。子どもたちも真剣な表情で取り組んでいました。

## 「玉入れ合戦」の結果

### 〈一般の部〉

- 第1位 川辺学習館 イクメンですね！（31秒16）
- 第2位 ヒーローズ（35秒32）
- 第3位 川小おやじモンスターズ（35秒75）

### 〈レディースの部〉

- 第1位 GM3チーム（79秒06）
- 第2位 ショーン・ママ（80秒）
- 第3位 清水もりあげ隊レディース（88秒）

### 〈小学生の部〉

- 第1位 ☆霜出小6年池之平学級 パート2 ☆（50秒80）
- 第2位 川辺ミニバスケットボール（60秒60）
- 第3位 永吉小6-1 タートルズ（107秒62）

### 〈仮装部門〉

- 第1位 田代ジャージーズ
- 第2位 タニザップ
- 第3位 ☆霜出小6年池之平学級 パート1 ☆

## 平成27年秋の叙勲受章者

～長年にわたる功績をたたえ～

ずいほうそうこうしょう  
瑞宝双光章

中村邦彦さん（頰娃町別府）

中村邦彦さんは、昭和46年に社会福祉施設更生会を設立、翌年には障害者施設を開設されて以来、障害者および高齢者の福祉向上に強い信念と行動力で、いくつもの福祉施設を設立され、「障害者、お年寄りに愛と真心を」を理念とし、障害者および高齢者の福祉の充実に大きく貢献されました。

中村さんは「今回の受章は長年一緒に働いてきた多くの職員の支えによるもの」と話されました。



ずいほうしょうじゅしょう  
瑞宝小綬章

中迎勇策さん（川辺町平山）

中迎勇策さんは、昭和43年に鹿児島県庁に入庁し、平成17年に退職されるまで37年間にわたって、鹿児島県労働委員会事務局長など要職を務められました。労働委員会事務局長在任時は、労使関係の正常化と健全かつ安定した労使慣行の確立に努められるなど、労働委員会組織の円滑な活動と運営に大きく貢献されました。

中迎さんは「公平さを一番に務めてきた。社会の安定無くして、経済の発展はない」と話されました。



## 農 林水産省経営局長賞 受賞 ～(有)西牟田農園(穎娃町別府)～

11月10日、全国優良経営体表彰式が宮崎県庁で開催され、(有)西牟田農園が農林水産省経営局長賞(法人経営体部門)を受賞しました。農園では、農地の規模拡大を図り、「従業員が働きがいのある就業環境を築くこと」を使命として経営展開し、後継者や新規就農者の育成にも力を入れており、これらの活動が評価されました。今後、日本の農業の先導役として活躍が期待されます。



▲受賞式での西牟田夫妻。農園のモットーは「野菜は生きている。丁寧に育て、出荷すれば、作り手の思いに応えてくれる」と話しました。

▼地域づくり全国交流会議が国土交通省で開催され、表彰式終了後、穎娃おこそ会の加藤潤さんが、これまでの取り組みなど事例発表を行いました。



## 全 国地域づくり推進協議会会長賞 受賞 ～NPO法人穎娃おこそ会～

11月26日、NPO法人穎娃おこそ会が国土交通省の「地域づくり表彰」で全国地域づくり推進協議会会長賞を受賞しました。この賞は創意と工夫を生かした個性的な地域づくりに貢献した団体へ表彰されるもので、地元の釜蓋神社や番所鼻公園などを観光資源として生かしたさまざまな取り組みと今後の更なる発展が期待できることから今回の受賞となったものです。

▼矢櫃橋近くの水辺の灯りゾーン。この日は灯りに包まれた会場で、音楽演奏や歌、ぬふた躰子などで来場者をもてなしました。



## あ かりの道標『ちらん灯彩路』 ～幻想的な灯りが通りを彩る～

11月15日、知覧武家屋敷通り一帯と近くの麓川沿いに竹や和紙で作られた約7千個の灯ろうがともされ、矢櫃橋近くでは灯りの川が流れているようでした。また、武家屋敷庭園一帯は昼間とは違う趣をかもし出し、ライトアップされた庭園は幻想的な雰囲気にも包まれていました。来場者は「時間がゆっくりと流れているようで、やさしい灯ろうの光に癒された」と話しました。

## ふ るさとの味で親睦を深める ～学校給食で南九州市・北九州市交流～

11月26日、27日に北九州市との親睦を深める交流給食が行われ、本市では北九州市郷土料理の「筑前煮」と「イワシのぬかみそ炊き」が、北九州市では本市特産のサツマイモを使った「さつま汁」と「キビナゴのかば焼き」が提供されました。中村教育長と北九州市からの派遣職員の吉田さんが川辺小学校を訪れ、児童たちと一緒に北九州市の味を楽しみました。



▲南九州市、北九州市に関連するクイズで吉田さんを楽しませる川辺小5年2組の皆さん。心のこもったおもてなしでさらに親睦を深めました。

## 初出荷祈願「えい太くん」 ～ 穎娃産のサツマイモ～

11月30日、生産者が「技術・品質・食味」に自信を持つ、極上の甘さとしっとり感! 穎娃産のサツマイモ「えい太くん」の初出荷祈願が行われました。販売に勝負をかけるということで勝負事にご利益がある



▲奉納された「えい太くん」は、穎娃産の紅はるかというサツマイモで、極上の甘さとしっとり感が特長です。

とされる釜蓋神社に、益々の健勝と有利販売に繋がるようにと思いを込めて「えい太くん」を生産者が奉納しました。

## 災害を風化させない、恩返し 22 年目 ～ 川辺小学校 P T A バザー開催～

11月15日、川辺小学校で P T A 主催のバザーが開催されました。このバザーは平成5年の川辺町小野の災害時、多くの方や団体から支援していただいたことに対して恩返ししたいと、当時の P T A が始めたもの



▲バザーの様子。毎回、地元で起こった悲しい災害を風化させないよう、児童・保護者にもバザーの目的や経緯を周知しています。

ので、バザーの益金を積立て、その一部を被災地へ寄附しています。今回は口永良部島の避難者に義援金を送りました。

## かねやまと立地協定 ～ 既存の空き工場（知覧町下郡）を活用～

11月10日、市役所で有限会社かねやま（鹿児島市）との立地協定式が行われました。同社は青果卸・加工販売を手掛けており、本市に新設する工場では、たまねぎ、じゃがいも、大根などの加工および惣菜製造を行



▲(有)かねやまの杉山富美夫社長は、「儲かる農業のモデルケースとなるよう行ってきたい」と話しました。

い、原料は市内農家と生産委託する予定です。年内の操業開始を目指しており、新規雇用者を15人程度募集中です。

## 産業用無人ヘリコプター全国大会 ～ 個人戦準優勝、団体戦県優勝に貢献～

10月30日、第24回全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会が茨城県で開催。この大会は病害虫防除の効率的な作業や安全な飛行技術の向上を図るため行われ、5年未満の部に市農業公社から県代表として2



▲オペレーターの東耕太さん（中央）と合図マン大倉野慎さん（左2人目）が準優勝を獲得。

組が出場し、見事準優勝となりました。選手は「今回の経験を生かし、さらに信頼されるよう取り組みたい」と話しました。

## 南九州市こどもまつり開催 ～ 366 人の子どもたちが参加!～

11月3日、市地域子育て支援センター「つみき」主催の4回目となる南九州市こどもまつりが、穎娃町農業者トレーニングセンター前広場で開催されました。輪投げやボーリングなどのゲームコーナーのほか、消



▲まつりでは、穎娃高校生による人形劇、薩南工業高校生による親子木工体験教室なども行われました。

防車やパトカー・白バイ乗車体験も行われ、普段乗ることのできない乗り物に子どもたちはとても喜んでいました。

## 悪質業者の対応方法を学ぶ ～ 消費生活出前講座～

11月18日、手蓑校区公民館で手蓑長寿学級14人を対象に消費生活出前講座が行われました。消費生活相談員が振り込め詐欺やマイナンバー制度を悪用した手口を紹介し、悪質な業者への対応方法を学



▲「不審な電話がきたらすぐに切ってください」と相談員から説明がありました。

びました。市消費生活センターでは、地域の座談会や集会などで出前講座を行っており、随時募集しています。